

## 架空の世界の旅をする Traveling the World of Fiction



「非現実」を現実に再現できるのか

塗料メーカーの美術造形サンプルの制作を手伝う中で、現実にはあり得ない「空想的なもの」を作るという事に興味を持った。オリジナルの「架空の世界」を根本からデザインしていく表現研究制作。

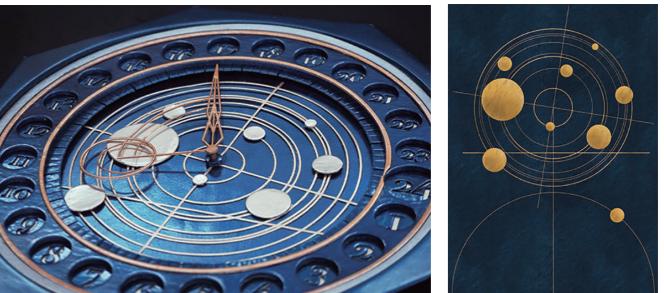
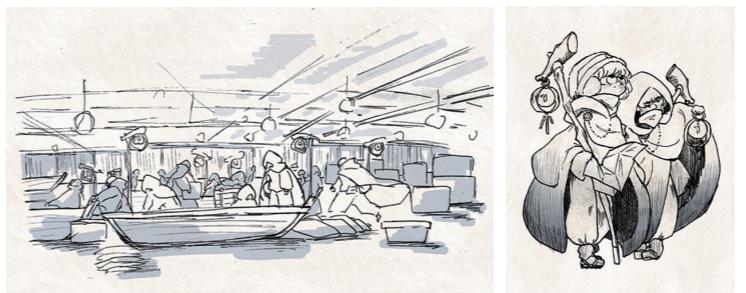
Can "Unreality" Be Recreated in Reality?

I have been involved in sample modeling as a part of a plastic art project at a paint manufacturing company. While doing this work, I became intrigued by an opportunity to create "fantastic" objects representing the impossibilities of the real world. My project is an inquiry into the expression and design of original "fictitious worlds" from scratch.

根本的な地形、気候から、生命の歴史、人間の文化、ストーリーを作り、そこで使われるものを実際に造形していく。

### 【ずっと夜のまち】

太陽が登らなければどういう世界ができるのか。海と地熱から気温を、たくさんの月から光源を。潮目で取れる魚を経済源に天文学を発展させ、大きな月を指標にした一周 24 時間の時計を、厚紙で制作した。



### 【宝石のまち】

夜の街と反対に、カラフルな石をテーマにデザイン。  
宝石、化石のできやすい環境から、太古の海中都市が火山により  
陸地化し、岩石砂漠のオアシス街として遺跡と一体化したまちを形成。  
鉱物類は河川周囲に発生する塩湖の岩塩を中心に、  
宝石は石英やオパールなど二酸化ケイ素系のもの。

ラッカーコートの色ムラやにじみを利用し、オパールなどにある波模様の  
宝石の装飾品をデザインした。

